

平成26年度  
「児童生徒の問題行動等  
生徒指導上の諸問題に  
関する調査」結果の概要

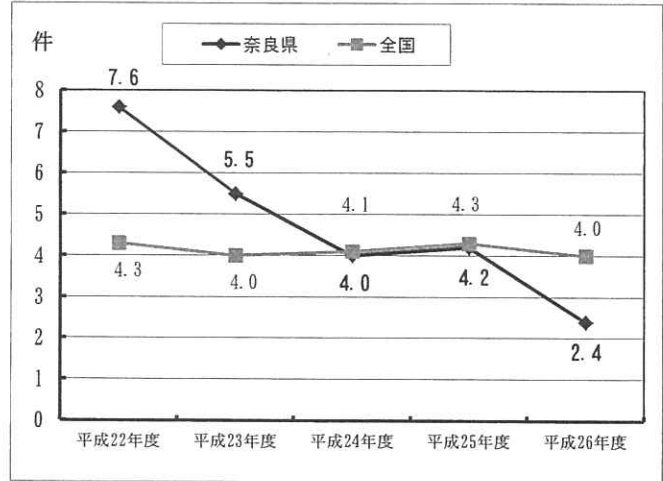
奈良県教育委員会

H27. 9. 16

# 平成26年度 暴力行為の状況

## 1 全国との比較（国公立小・中・高等学校合わせた1,000人当たりの発生件数）

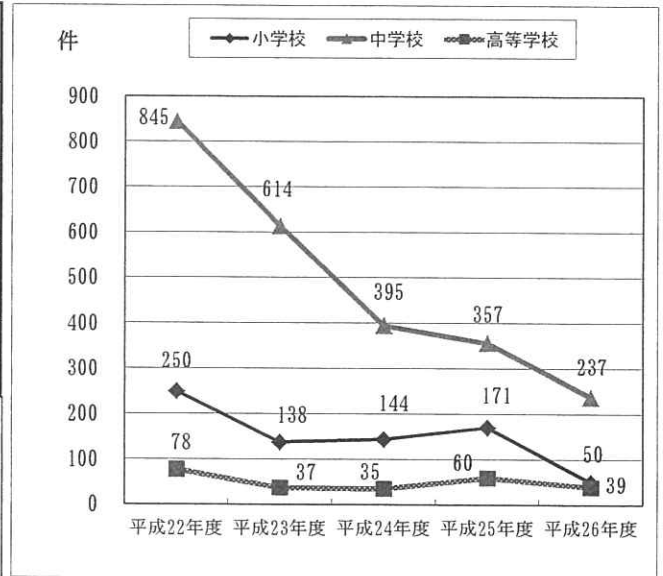
	奈良県	全国
平成22年度	7.6	4.3
平成23年度	5.5	4.0
平成24年度	4.0	4.1
平成25年度	4.2	4.3
平成26年度	2.4	4.0



※ 平成26年度の公立小・中・高等学校合わせた1,000人当たりの発生件数は、全国が4.2件、奈良県が2.5件であった。

## 2 暴力行為の発生件数の推移（奈良県の公立学校）

	小学校		中学校		高等学校		合計	
	内	外	内	外	内	外	内	外
平成22年度								
平成23年度								
平成24年度								
平成25年度								
平成26年度								
校内外の別	内	外	内	外	内	外	内	外
	39	11	212	25	32	7	283	43



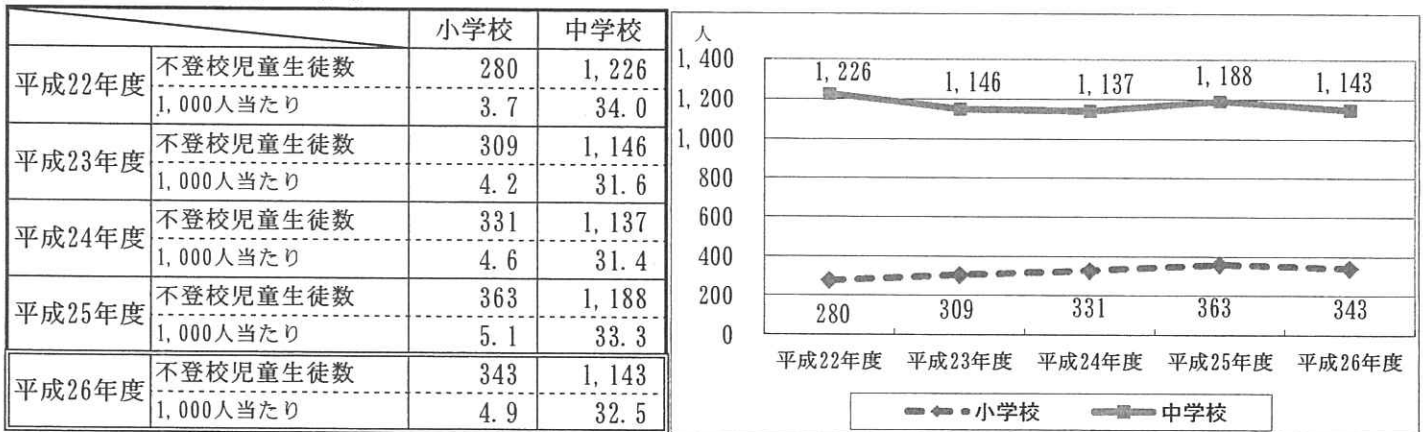
# 平成26年度 小学校・中学校における不登校児童生徒の状況(年間30日以上)

## 1 1,000人当たりの不登校児童生徒数の推移(国公立小・中学校)

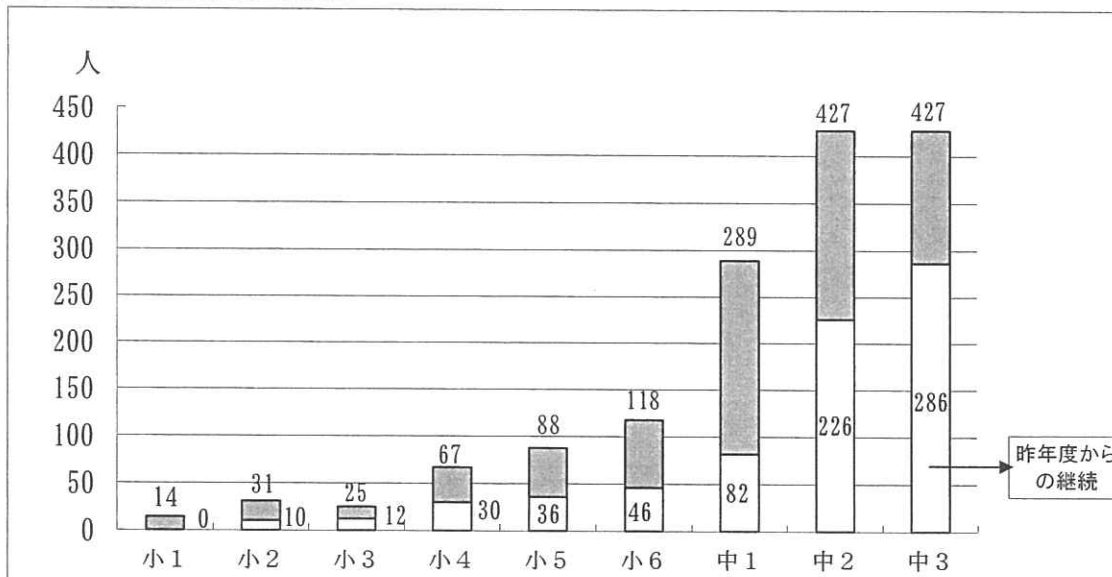
	小学校		中学校		小・中学校	
	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国
平成22年度	3.6	3.2	30.8	27.3	13.1	11.3
平成23年度	4.1	3.3	28.7	26.4	12.8	11.2
平成24年度	4.5	3.1	28.9	25.6	13.2	10.9
平成25年度	5.0	3.6	30.8	26.9	14.3	11.7
平成26年度	4.8	3.9	29.5	27.6	13.7	12.1

## 2 奈良県の公立小学校・中学校における不登校児童生徒の状況等

### (1) 不登校児童生徒数の推移



### (2) 学年別不登校児童生徒数



## (3) 不登校になったきっかけと考えられる状況

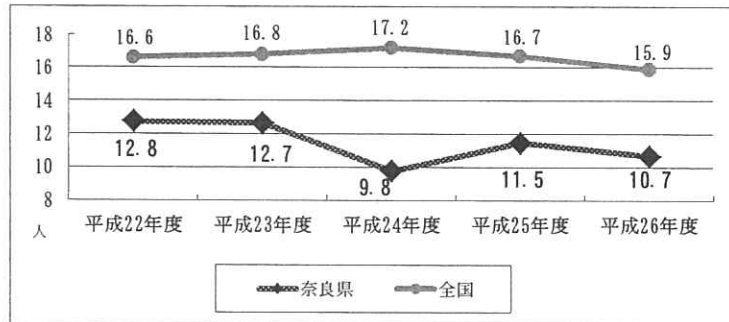
		小学校(人)	比率(%)	中学校(人)	比率(%)	合計(人)	比率(%)
学校に係る状況	いじめ	6	1.7	31	2.7	37	2.5
	いじめを除く友人関係をめぐる問題	39	11.4	185	16.2	224	15.1
	教職員との関係をめぐる問題	12	3.5	12	1.0	24	1.6
	学業の不振	17	5.0	114	10.0	131	8.8
	進路にかかる不安	1	0.3	23	2.0	24	1.6
	クラブ活動、部活動等への不応	0	0.0	38	3.3	38	2.6
	学校のきまり等をめぐる問題	1	0.3	35	3.1	36	2.4
	入学、転編入学、進級時の不応	7	2.0	23	2.0	30	2.0
家庭に係る状況	家庭の生活環境の急激な変化	31	9.0	37	3.2	68	4.6
	親子関係をめぐる問題	95	27.7	134	11.7	229	15.4
	家庭内の不和	15	4.4	46	4.0	61	4.1
本人に係る状況	①病気による欠席	34	9.9	82	7.2	116	7.8
	②あそび・非行	5	1.5	104	9.1	109	7.3
	③無気力	68	19.8	363	31.8	431	29.0
	④不安など情緒的混乱	117	34.1	236	20.6	353	23.8
	⑤意図的な拒否	7	2.0	54	4.7	61	4.1
	上記①～⑤に該当しない本人に関わる問題	36	10.5	147	12.9	183	12.3
その他	26	7.6	24	2.1	50	3.4	
不明	3	0.9	46	4.0	49	3.3	
計	520		1,734		2,254		

※ 構成比は、各校種における不登校児童生徒数に対する割合《複数選択可》

# 平成26年度 高等学校における不登校の状況

## 1 1,000人当たりの不登校生徒数の推移（国公立高等学校）

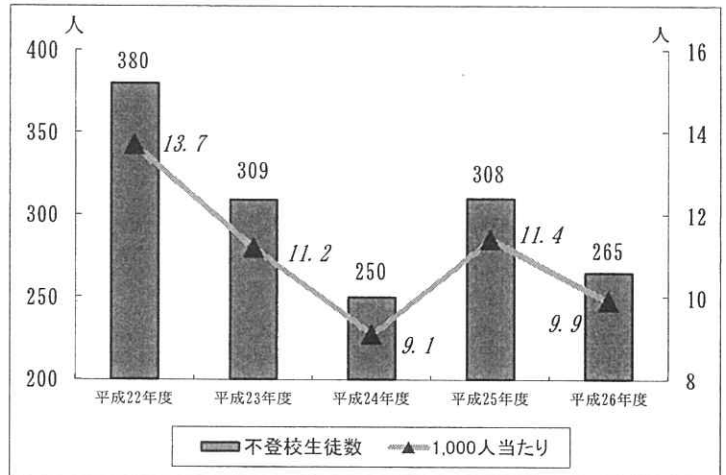
年度	奈良県	全国
平成22年度	12.8	16.6
平成23年度	12.7	16.8
平成24年度	9.8	17.2
平成25年度	11.5	16.7
平成26年度	10.7	15.9



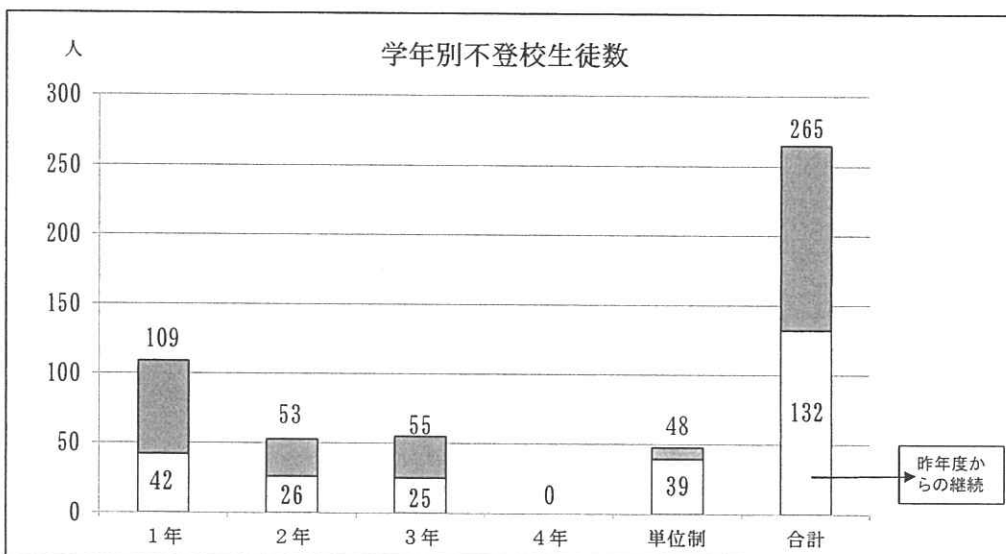
## 2 奈良県の公立高等学校における不登校生徒の状況等

### (1) 不登校生徒数の推移

平成22年度	不登校生徒数	380
	1,000人当たり	13.7
平成23年度	不登校生徒数	309
	1,000人当たり	11.2
平成24年度	不登校生徒数	250
	1,000人当たり	9.1
平成25年度	不登校生徒数	308
	1,000人当たり	11.4
平成26年度	不登校生徒数	265
	1,000人当たり	9.9



### (2) 学年別不登校生徒数



(3) 不登校になったきっかけと考えられる状況（全日制）

		生徒数(人)	比率(%)
学校に係る状況	いじめ	1	0.5
	いじめを除く友人関係をめぐる問題	16	7.4
	教職員との関係をめぐる問題	0	0.0
	学業の不振	20	9.3
	進路にかかる不安	36	16.7
	クラブ活動、部活動等への不応	3	1.4
	学校のきまり等をめぐる問題	3	1.4
	入学、転編入学、進級時の不応	18	8.3
家庭に係る状況	家庭の生活環境の急激な変化	4	1.9
	親子関係をめぐる問題	19	8.8
	家庭内の不和	5	2.3
本人に係る状況	①病気による欠席	18	8.3
	②あそび・非行	8	3.7
	③無気力	35	16.2
	④不安など情緒的混乱	60	27.8
	⑤意図的な拒否	16	7.4
	上記①～⑤までのいずれにも該当しない、本人に関わる問題	6	2.8
その他		0	0.0
不明		1	0.5
計		269	

※ 構成比は、不登校生徒数に対する割合《複数選択可》

平成26年度 県立高等学校における中途退学の状況(全日制)

1 中途退学者数(学年別・事由別)

事由	学年	学業不振	学校生活・学業不適応					進路変更	問題行動	その他	小計	病気がけ	経済的理由	家庭事情	その他	小計	合計
			もとともと 高校生活 に熱意が ない	授業に興 味がわか ない	人間関係 がうまく 保てない	学校の雰 囲気があ わない	その他										
事由別 中退者数	1年	7	17	32	3	18	12	66	8	163	12	4	3	1	20	183	
	2年	5	0	9	3	2	2	37	4	62	3	1	2	0	6	68	
	3年	0	0	0	1	0	1	11	1	14	4	0	3	0	7	21	
事由別 中退者数		12			100		114	13	239	19	5	8	1	33	272		
事由別率		4.4%			36.8%		41.9%	4.8%	87.9%	7.0%	1.8%	2.9%	0.4%	12.1%	100.0%		

2 事由別中途退学者数の推移

事由 年度	学業不振	学校生活・学業不適応					進路変更	問題行動	小計	病気がけ	小計	その他	合計	退学率 (%)	学年別			生徒総数
		もとともと 高校生活 に熱意が ない	授業に興 味がわか ない	人間関係 がうまく 保てない	学校の雰 囲気があ わない	その他									1年	2年	3年	
H22	18	44	29	9	22	26	178	6	332	17	36	0	368	1.47	242	106	20	25,078
H23	22	30	45	8	27	34	155	4	325	13	23	1	348	1.40	230	89	29	24,938
H24	7	28	22	3	20	34	154	7	275	18	32	1	307	1.24	200	75	32	24,820
H25	7	22	26	8	16	14	196	9	298	15	32	3	330	1.35	230	74	26	24,432
H26	12	17	41	7	21	14	114	13	239	19	33	1	272	1.12	183	68	21	24,248
					100										67.3%	25.0%	7.7%	

## 〔状況〕

### 1 暴力行為

－対教師暴力、生徒間暴力、器物損壊、対人暴力の4形態－

〈国公立小・中学校・高等学校における1,000人当たりの発生件数〉

平成26年度の本県の国公立小・中・高等学校合わせた児童生徒1,000人当たりの暴力行為の発生件数は、2.4件（前年度比1.8ポイント減）であった。なお、全国の国公立小・中・高等学校合わせた児童生徒1,000人当たりの暴力行為の発生件数は、4.0件（前年度比0.3ポイント減）であった。

〈公立小・中学校・高等学校における暴力行為発生件数〉

平成26年度の本県の公立小・中・高等学校合わせた暴力行為の発生件数は、326件（前年度比262件減）であった。

〈公立小・中学校・高等学校における校種別暴力行為発生件数〉

公立小では50件（前年度比121件減）で、児童1,000人当たりの暴力行為の発生件数は、0.7件（前年度比1.7ポイント減）であった。

公立中学校では237件（前年度比120件減）で、生徒1,000人当たりの暴力行為の発生件数は、6.7件（前年度比3.3ポイント減）であった。

公立高等学校においては39件（前年度比21件減）で、生徒1,000人当たりの暴力行為の発生件数は、1.5件（前年度比0.7ポイント減）であった。

### 2 小学校・中学校における不登校

－30日以上欠席し、理由が経済的理由、病気等でないもの－

〈国公立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数〉

平成26年度の本県の国公立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数は、小学校が4.8人（前年度比0.2ポイント減）、中学校が29.5人（前年度比1.3ポイント減）、小・中学校合わせて13.7人（前年度比0.6ポイント減）であった。なお、全国の小・中学校では12.1人であった。

〈公立小・中学校における不登校児童生徒数〉

本県の公立小・中学校における不登校児童生徒数は、小学校が343人（前年度比20人減）、中学校が1,143人（前年度比45人減）であった。

〈公立小・中学校における不登校児童生徒の前年度からの継続の状況〉

小学校では、不登校児童のうち40.7%が前年度からの継続であり、3年生が48%と最も高かった。

中学校では、不登校生徒のうち52.0%が前年度からの継続であり、学年が進むに従って増加し、3年生では7割近くが前年度からの継続である。

〈公立小・中学校における不登校になったきっかけと考えられる状況〉

小学校では①「不安など情緒的混乱」34.1%（前年度30.9%）

②「親子関係をめぐる問題」27.7%（前年度19.8%）

③「無気力」19.8%（前年度20.9%）



- 中学校では①「無気力」31.8%（前年度25.5%）  
②「不安など情緒的混乱」20.6%（前年度21.4%）  
③「いじめを除く友人関係をめぐる問題」16.2%（前年度14.1%）  
の順となっている。

### 3 高等学校における不登校

－30日以上欠席し、理由が経済的理由、病気等でないもの－

#### 〈公立高等学校における不登校生徒数等〉

平成26年度の本県の公立高等学校（全日制・定時制課程）における不登校生徒数は265人（前年度比43人減）であった。

全日制では216人（前年度比19人増）、学年別では1年生が100人と最も多かった。

定時制では49人（前年度比62人減）、学年別では1年生が9人と最も多かった。

#### 〈公立高等学校における不登校になったきっかけと考えられる状況（全日制）〉

- ①「不安など情緒的混乱」27.8%（前年度23.4%）  
②「進路にかかる不安」16.7%（前年度8.1%）  
③「無気力」16.2%（前年度18.8%）の順となっている。

### 4 高等学校における中途退学

#### 〈県立高等学校における中途退学者数〉

平成26年度の県立高等学校（全日制）における中途退学者は272人（前年度比58人減）であり、中途退学率1.12%（前年度比0.23ポイント減）であった。学年別の割合では、1年生が67.3%、2年生が25.0%、3年生が7.7%であった。

#### 〈県立高等学校における中途退学の主な理由（全日制）〉

- ①「進路変更」41.9%（前年度59.2%）  
②「学校生活・学業不適合」36.8%（前年度26.1%）  
③「病気・けが」7.0%（前年度4.6%）の順となっている。